プロジェクト名

玉川学園地区 地域資源活性化プロジェクト

活動の目的

玉川学園地域は、戦前からの学園まちづくりにより豊かな住環境が形成されています。しかし、これらの住環境は時代の趨勢の中で徐々に変容し、まちの魅力に陰りがみえつつあります。

地域資源活性化プロジェクトでは、現在のままでは持て余し気味であったり、空いて使われていなかったりする建物や場所を、今までとは視点を変えて新たな価値や魅力として存在させられないか、地域資源として利活用できないか、減少する公共交通を補う地域の小さな移動を志のある人材と資源を組み合わせることで実現できないかなどを、地域で意識共有するために情報発信したり、様々な団体や大学と連携して活動することを目的とするプロジェクトです。

活動の内容

- ・「まちの縁側 1 丁目の加々美さんち」 空き家の利活用（場所貸しとして、高齢者の健康増進、終活、不登校対策、子供行事や文化行事など）と利活用を通じた地域の団体や住民と顔の見える関係の増進。
- ・地域の人が気楽に寄れて心の支えになる居場所、相談の場として、「えんがわカフェ」を定期的開催。
- ・活動内容の公開として、ブログ、SNS を通じた情報発信、新聞による緩やかな啓発。
- ・地道に積上げてきた地域の主要活動団体との連携を活かして、地域の移動資源として地域の実情を把握したスモールモビリティの企画検討実施。
- ・大学との連携による地域課題と対策の俯瞰、研究、提案。

3 年間の活動計画

1 年目	2 年目	3 年目
・2021 年開設の「まちの縁側 1 丁目の加々美さんち」の継続運用 ・えんがわカフェの継続発展 ・ブログ、FB で情報発信継続 ・新聞での情報発信継続 ・大学連携による地域課題と対策 ・地域の移動資源としてのオンデマンド型医院送迎の実施準備	同左に加えて ・空き地空き家予備軍の把握と活用検討 ・地域の移動資源としてのオンデマンド型医院送迎の公表、実施、（但し、地域交通は新プロジェクトとして立ち上げ、移行）	同左に加えて ・さらなる空き家空き地利活用の推進 獲得したノウハウとりまとめ ・住み替え支援、路地状敷地のコモン化による沿道環境の形成 ・空き家等利用等を通じたネイバーフッドマネージメントの検討

活動場所と時間

場所：まちの縁側 1 丁目の加々美さんち
コミュニティセンター地域活動室
時間：随時

<対象エリア> 主に、玉川学園 1 丁目～8 丁目
<会議> まちの縁側 1 丁目の加々美さんち
コミュニティセンター地域活動室

玉川学園地区地域資源活性化プロジェクト メンバー：15名

代表者：木村真理子

連絡先：042-727-7770

木村真理子 kimuramariko.tama@gmail.com